

普及現地情報



発信年月日:令和7年(2025年)9月2日

所 属 名:高島農産普及課

番 号:H25021

発 信 者 名:大角、大崎

学校連携～先進的農業者に学ぶ農業～

8月21日、農業について理解を深め、就農への意欲向上を図ることを目的に、畜産や土地利用型農業で活躍されている生産者の協力を得て企画した現地研修会を開催したところ、長浜農業高等学校(以下、長浜農業高校)から、農業科の1年生 36 名、教員2名が参加されました。

当日はまず、県内有数の肉用牛の大規模肥育農家である「清水牧場」で生後数か月から出荷直前の牛まで、生育ステージごとに管理されている牛舎を見学しました。生徒は自動哺育ロボットやカラス対策のレーザーに興味を示すとともに、飼養頭数の多さに驚いていました。また、20代から活躍する3代目の清水美咲氏の牛への愛情やこだわりに感動し、常に生き物と接することができるという畜産の魅力に触れていました。

続いて、高島有数の大規模経営体で、水稻、麦、大豆の栽培や加工をされている「有限会社ライスステーションタカシマ」に伺いました。永田拓也代表取締役(以下、永田代表)の案内のもと、乾燥機や無人ヘリが保管されている農舎やコンバイン等の農業機械の整備場を見学しました。生徒は永田代表の「機械整備を自身で行いコスト削減に取り組んでいる」という話に耳を傾けるとともに、JGAP の認証を受け整理整頓された農舎に好印象を持っていました。

非農家出身の生徒が多い中、受講後のアンケートでは8割を超える生徒が「職業選択肢」としての「農業」に対する関心が高まったと回答しました。「機械を運転したくなった」や「普段知れないようなことを見聞きでき、進路の参考になった」といった感想も見られ、職業としての農業への理解を深めるきっかけになりました。

今後も将来の地域の担い手を確保し、農業に関わる「人のすそ野」を広げられるよう取り組みます。



図1 清水牧場での視察



図2 (有)ライスステーションタカシマでの視察